



以前から要望の強かった国道116号線両高地内に押しボタン信号機が設置され、12月10日(火)運用開始式が行われました。

当日は村長のあいさつの後、地域のみなさんの見守る中、与板警察署の指導で毎日この国道を横断し登校している島田小学校6年生谷川君の手で最初の押しボタンが押され、信号機が作動をはじめました。

ちょっとした気のゆるみが、大きな事故につながります。たとえ先を急いでいても信号機を正しく使い、みんなで交通事故ゼロを目指していきましょう！

みんなの交通安全を願って



よう きなされたね

東保内 管野 葉子さん (ご主人 広之さん)

管野さんは宮城県仙台市の出身で、以前は長岡市に住んでいましたが、平成7年秋、東保内の住宅団地に越してきました。

和島村の印象は？
とても静かで気持ちの安らぐ、住みよいところだと思います。

和島村に住んでどうですか？
みなさんたいへん親切でやさしく、気軽に声をかけてくれるのでうれしいですね。近くに親せきなど知人がいない私たちには、心強い限りです。最近住宅団地にも公園ができ、近所の方がよくお子さんを連れて集まっています。そこで知り合いになる人もいて、お互い仲よく遊んだり、情報交換したりで楽しくやっています。

村に望むことは何ですか？
絵本が好きで、集めるのが趣味

なのですが、子供が大きくなると捨ててしまう人が多いように思います。村で図書館を充実させてその一面に絵本コーナーでも作り、捨てられるそれらの本を集めておいてくれればありがたいと思えますが…。

ログハウスのような家に住む管野さん。その一部はご主人が自分で作られたのだそうです。家の中ではまきストーブが使われ、とても暖かでした。「子供が大きくなったらキャンピングカーを買って、世界一周旅行をするのが夢なんです」と話します。

それと「和島に来て何よりうれしいのは、見ず知らずの人でも気軽に声をかけてくれること。都会ではそんなことはまずありません

から…。みなさんこれからもどうか仲よくしてください」

コンバイン・トラクター・耕運機のナンバーについて

コンバイン・トラクター・耕運機(トレーラー)のついてるもの(等、ナンバーのついてる農耕車を)

役場へもってきて下さい。

取得したとき…役場へナンバーをもらいにきて下さい。

入替をしたとき…古い車輛についていたナンバーをそのまま

新しいものに付け替えず、古いものは役場へひき上げ、新しいナンバーをもらい、それをつけて下さい。

これらの手続きを忘れると、課税上のトラブルにつながりますので、忘れずお願いします。くわしくは、役場税務課までお問い合わせ下さい。

人口の動き

	11月末人口
人口	5,357人(±0)
男	2,604人(-1)
女	2,753人(+1)
世帯数	1,283世帯(+3)
	()内は前月比





年頭の御挨拶

和島村長 久須美 逸郎

新年明けましておめでとございます。皆様方におかれましては、御家族お揃いで輝かしい希望に満ちた新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。旧年中は、村政推進に対し温かい御指導・御協力を賜り、誠にありがとうございます。

昨年は、住専処理問題が国会の混乱を引き起し、また、小選挙区比例代表並立制の導入により選挙が実施され、同日実施された二十一世紀に向かう県政と国政を担う選挙が実施された年でありました。特に、現在検討されている地方分権や規制緩和は、明治維新・戦後改革に次ぐ国家における大改革であると共に、行政改革・公的介護保険・消費税等山積する課題・難題が非常に多く、大変重大な責任と判断が要求される時局と認識するところであります。

また、バブル経済崩壊以降長引く経済不況は底冷えから低迷状態が続き、未だ厳しい状況下であります。同様に、地方財政を取り巻く環境も極めて厳しく、税収の落ち込みと共に多くの債務を抱え、財政再建を余儀なくされており、限られた財源の重点配分・経費支出の効率化が不可欠であります。そうした中で、借入金の償還の

割はますます大きくなって来ており、特に社会経済の情勢に的確に対応し、豊かで快適な安心できる地域社会づくりが求められております。これらに相まって、地方分権推進の趣旨であります地方公共団体の自立性・自主性の強化も求められているところであります。これらに並行して、時代に則し

ピークを迎える年次を念頭に、県営圃場整備・特環公共下水道・農業集落排水等継続事業の事業費調整や道の駅・史跡公園等大型プロジェクト事業の今後の対応を踏まえ、鋭意対応対応を図る所存でございます。

就任以来、高齢者福祉対策が急務を要する課題と定め、老健施設並びに特養施設の確保に努力をしまいたたところでございます。現段階では、自宅待機を余儀なくされておられる方々の思いを鑑み、老健施設「てらどまり」に建設予定であります特養施設に十床分確保し、また、障害者福祉対策も同様に、障害者施設に対しても可能な限りの対応を図ることといたしました。

そして、快適な地域づくりときめ細かな行政運営を目指す中、永年二級村道の役割でありながら除雪対応から除外され、御難儀をおかけいたしております。「常口」的道路の改良等対応を図るべく、昨年区長さんを通じ調査をさせていただき、これら調査結果を基に可及的速やかに対応をいたす所存であります。

懸案であります小学校統合も昨年小学校施設整備委員会の御答申をいただき、「位置の決定は、村民の意思を反映させなければならぬ」という観点から、アンケートという形で村民の皆様方の意

向をお諮りした次第であります。建設につきましては、財政状況等勘案した中で時期の確定をしたいと考えております。

さて、昨年は国県の大規模プロジェクト事業であります阿弥陀瀬トンネルの工事着工と国道一六号バイパストンネルの景観検討委員会設置等「静」から「動」へと具体的な動きへと始動いたしました。これらは、将来の和島村の生命線と認識するものであり、早期開通はもとより、一部連動的な部分もあります。道の駅・史跡公園並びに郷本川の河川改修等の早期実現と竣工を指導及び関係機関に対し、鋭意陳情並びに要請をしまいたす所存であります。

昨年村道小島谷・辺張線建設に伴う発掘調査を実施した結果、多数の遺構が密集して発見され「下ノ西遺跡」として、それら遺跡の規模と「八幡林官衙遺跡」との絡みから内外に注目され、今後の調査結果が待たれるところであります。しかしながら、これら遺跡の重要性は和島村の先人達が残された大切な遺産として十分認識するところであり、発掘対応の遅れから一六号バイパス等早期開通に支障を来すことが懸念され、発掘専門員の増員を含め対応に善処いたす所存であります。

おわりに、地域の総合的な行政主体たる地方公共団体が果たす役

的確な対応ができうる資質と能力、そして、意識改革が行政職員に問われるところであり、自己啓発を含め適宜機会あるごとに促し、適切な人事対応を念頭に役員一体となり「事」に当たる決意であります。

本年度就任以来二年目の予算編成となりますが、来るべき二十一

八幡林官衙史跡が文化庁から文化財保護法による指定を受け、道の駅とともにその整備が進められます。

下ノ西遺跡では、飛鳥・藤原時代から平安時代にかけての遺構・遺物が多種出土し、八幡林官衙遺跡を上回るものとして、先人の残してくれた遺跡が県内外から脚光を浴びています。

一昨夏オープンした和島オートキャンプ場は盛況であり、良寛の里も合わせて観光行政の推進が待たれるところであります。

快適な住環境の整備をはじめ、住みよい村づくりに向けて諸施策が継続されます。議会も地方の時代の中で、村民の皆様から多様化するニーズに即応した行政サービスの提供を求め、付託に応えるべく日々研鑽を重ね、個々の資質を高め、邁進していく所存であります。

新年のごあいさつ

和島村議会議長 高橋 均

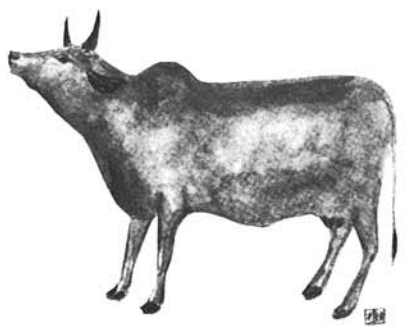


新年あけましておめでとございます。村民の皆様方ご家族お揃いで、輝かしい新年を寿ぎしことを拝察し誠に慶賀にたえません。

昨年は、村民の皆様方より村議会に対し深いご理解とご支援をいただき厚く御礼申し上げます。高齢化、情報化、国際化等めまぐるしく変化する社会情勢の中、住民に身近な行政事務は地方自治体事務として地方分権が今年度から移譲され、本格的な地方の時代となり村民の皆様へのニーズに

応えることとなります。新食糧法が施行され一年余が経過しました。高齢化する従事者、後継者、担い手対策として認定農業者制度が発足し、和島村も十一人と二団体が農業者に認定され、より一層その充実が望まれるところであります。

八幡林官衙史跡が文化庁から文化財保護法による指定を受け、道の駅とともにその整備が進められます。下ノ西遺跡では、飛鳥・藤原時代から平安時代にかけての遺構・遺物が多種出土し、八幡林官衙遺跡を上回るものとして、先人の残してくれた遺跡が県内外から脚光を浴びています。一昨夏オープンした和島オートキャンプ場は盛況であり、良寛の里も合わせて観光行政の推進が待たれるところであります。快適な住環境の整備をはじめ、住みよい村づくりに向けて諸施策が継続されます。議会も地方の時代の中で、村民の皆様から多様化するニーズに即応した行政サービスの提供を求め、付託に応えるべく日々研鑽を重ね、個々の資質を高め、邁進していく所存であります。



明るい家庭づくり運動作文

和島村青少年育成村民会議
和島村教育委員会



ぼくのいちちゃん

桐島小一年 かさはら もとし

「いちちゃんは、ちゅうがく一ねん。まい日、ファミコンをしている。とくによくやるのは、「ファミスター4」というなまえのカセットです。さいきんは、ぼくのカセットをやる。じぶんのカセットは、もうあきたのかもしれない。ぼくよりもはやくかえってくる日もある。そういうときも、ファミコンをしていることがおおい。」

「いちちゃんは、日曜日とか、ひまな日に、たまにぼくとあそんでくれる。やきゅうをおしえてくれる。ファミールとか、ボールのとりかたとか、なげかたとかをおしえてくれる。」

「いちちゃんは、やわらかいボールを下からやさしくなげてくれる。ぼくは、たまにうてるときがある。まえ、ぼくがうったボールがトラックのにはいっていったことがある。うれしかった。」

「ぼくは、いちちゃんとやきゅうをするのがおもしろい。だけど、たまにしかやってくれないから、日曜日じゃない日も、もうちょっとぼくとあそんでほしい。ファミコンばかりしないで、ぼくとあそんでほしい。」



おふろそうじ

島田小一年 かたぎり かつや

「かつや、おふろそうじおねがいね。」

「よし、これでいい。」

「おじいちゃんとおふろにはいりなさい。」

「おかあさんにいわれ、ぼくはおふろにはいることにした。」

「おじいちゃん、おふろにはいるよ。」

「おじいちゃん、おふろ、きもちいいでしょ。」

「そうだな。」

「おじいちゃん、おふろ、きもちよかった。おじいちゃん、とってもきもちよさそうだった。ぼくも、いいきもちになった。」

ハムスターとわたしの家族

桐島小二年 早川 歩



わたしは、まい週日曜日に、ハムスターのかごのそうじをします。ハムスターは、さいしょは二ひきだけだったんだけど、夏休みに赤ちゃんをうんだので、四ひきになりました。」

「わたしのお父さんは、夜、ハムスターとあそんだり、お話をしたりしています。」

「おなかはすいてないか？」

「お父さん、わたしは、ハムスターが少しきらいみたいです。ハムスターはくさいから、きらいなんだと思います。でも、お母さんは、たまにえさをやります。おそうじもし

「おじいちゃん、赤ちゃんがうまれた時は、かわいいな。」

「あつ、ハムスターがいない。」





ぼくとおかあさん

島田小二年 八子 ともひろ

いつも、おかあさんはがんばっています。朝一番早くおきます。ぼくがねているときに、洗たくをはじめます。朝ごはんを作ってくら、ぼくとちはるをおこしてくれます。

「おい、朝だぞおきろ。」とおとうさんは言います。おかあさんは、

「朝ですよ。」

と言っておこしてくれます。すぐにおきてこないで、だんだん大きな声になってきます。顔も少しおこった顔になります。

朝ごはんを食べているときも、きがえているときも大きな声がします。

「早くきがえなさい。」

と言う声を聞くと、おもいきりこわいです。

学校に行く時、ちはるとぼくを見おくらせてくれます。今まではこわい顔だったのに、ニコツとして「いってらっしゃい。車に気を付けてね。」

と言ってくれます。ぼくたちは、うれしくなって、大きな声で、「いってきます。」

と言います。おかあさんは、いつも六時に帰

ってきます。ニコニコとした顔で「ただいま。」

と言って帰ってきます。手に、買いのぶくろをもっています。おかあさんは、すぐに夕食の用いを使います。夕食で作ってくれるカレーはさいこうです。りょう理のうではすごいです。

休みのときには、あそんでくれます。ビー玉当てとかトランプのしんけいすいじやくとかあそびます。ぼくがかつと、おかあさんは、

「すごいね。」

と言ってくれます。

おかあさんがかつと、ぼくは、「いいなあ。」

と言います。

たまに、べんきょうも教えてくれます。おかあさんが、

「八かける一は。」

と言いました。ぼくは、

「八ッ！」

と言いました。おかあさんが、

「当たり前。」

と言って、ぼくが、

「おつかれさま。」

と言いました。おかあさんが、

「うん！」

と大きな声で言ってくれました。

思います。それに、りょうかんさまのこともいっぱい知っています。今は、りょうかんさまのビデオを見て勉強しています。りょうかんさまにかけては、日本一だと思います。りょうかんさまだけじゃなくて、ひでよしや、のぶながというとても昔の人のこともよく知っている



おすしを作ろう

島田小三年 久住 明裕

この前の日曜日に、家でおすしを作りました。

ざいりょうは、ごはんのりをいっばいと、具は、なつとうや魚です。魚は、いろんなしゅるいの物がありました。たとえば、サケやししゃもや、いか、たこなどです。わさびも用意して、ごはんはおけみたいな物に入れました。

作り方は、まず、のりをとって、わさびをちよびとつけます。その上からごはんをのせて、その中にいろんな具を入れて、そのままのりにつんででき上がりです。これは、お母さんが教えてくれました。それを今度は、ぼくたちがやりました。みんなでいっしょけんめい作りました。

ぼくは、はりきって作り始めました。ぼくの大こう物はなつとう

ので、すごく勉強したんだなあと思います。お父さんは、どんな勉強のしかたをしたのか知りたいです。いろんなことを知っているものしりにもなりたいたいと、たまに思います。お父さん、仕事も、勉強もがんばってね。がんばりやさんのお父さん。

だから、さい初になつとうをつつみました。作っていたら、どんどんあせが出てきました。ぼくが作ったのは、なぜか全部小さくなってしまいました。

十二い上作ると、みんながお母さんと交たいします。お母さんもうでまくりをして、いっしょけんめい作っていました。ぼくよりも、何倍も速くのりをまいて、一人で三十こい上作りました。ぼくたちは、その時、二階で休んでいました。台所から、おすしのいいにおいがしてきて、食べる前からうきうきわくわくしてきました。

おすしができ上がると、お母さんが、ぼくたちをよびに二階に来ました。その時、「わっ。」

夜、ねるときにおかあさんはいつもいっしょに本を読んでくれます。「かさじぞう」の本を読んでもらうときが、ぼくは一番うれ

しいです。ぼくがもんくを言うときわいけれど、おかあさんが大すき。とっても大きいです。



がんばりやのお父さん

桐島小三年 木村 周子

わたしのお父さんは、とてもがんばりやさんです。会社から帰ってくるごはんとお母さんが本を読んだり、

「頭をきたえるためだ。」

と言って本をとりよせたり、大人の人が使っている問題集を買ってきたりしています。

お父さんは、きかいのぶ品を組み立てたりする工場ではたらいしています。だから、お父さんは、力仕事も上手です。家の冬がこいをする時、お父さんは、がんばって家を回れる分を作ろうとしてい

ます。日曜日になると、朝から夜までがんばっているお父さんを見てお兄ちゃんたちも、

「家族の中で、一番のがんばりやは、お父さんだろうな。」

と言っていました。

わたしもお父さんはすごいと思います。七百ページぐらいもあり

そうなぶあついな本を毎日少しづつ読んでいるのを見ていたのでわたしもお父さんみたいに読書をいっ

という大きな声が、下の部屋から聞こえました。びっくりしていそいで下りてみると、お姉ちゃんがうつぶせになってたおれていました。

「お姉ちゃん、どうしたの。」

とお母さんに聞くと、

「わさびをたっぷりつけたのをつまみ食いしたんだよ。」

と言ったから、ぼくは、もうわらいが止まりませんでした。

部屋に入ると、テーブルの上に、さっきみんなで作ったおすしやサラダや肉だんごが、たくさんついでいました。みんな、

「いただきます。」

私の家族

桐島小四年 三鍋 加奈子



私の家の家族は七人です。おじいちゃんとおばあちゃんと、お父さん、お母さんと二人のお姉ちゃんと私です。

おじいちゃんは、いつも私が帰ってくる作業場について、がんばって仕事をしています。おじいちゃんの前まで大工さんをしていて、そうなんです。それにおじいちゃんはお茶が大好きです。毎日お茶を飲んで

います。私は、おじいちゃんのやさしいところが大好きです。

と言って食べ始めました。みんなにこにこしながら、もぐもぐ食べました。ぼくもどんどん食べました。わさびがきいていて、すごくからいんだけど、とてもおいしかったです。お父さんやお母さんたちも、たくさん食べていました。全部のこさず食べて、おなかがいっぱいになりました。

食べた後は、後かたづけです。みんなでやりました。ぼくは、皿はこびをしました。みんなで作ったので、いつもより早く終わりました。

ぼくは、さい後までお手つだいをしたので、「今日は、気持ちのいい日だなあ。」と思いました。

おばあちゃんは、晴れの日は畑に行って、あせを流しながら仕事をしています。雨の日でも、家の仕事をしています。ご飯も作ってくれます。私はおばあちゃんつてすごいんだなあと思います。私は、とってもがんばるおばあちゃん大好きです。

お父さんは、いつもがんばって会社に行って仕事をしています。土曜日でもがんばってしています。お父さんは、休みの日になるとゴ

ルフの練習によく行きます。それに私が、カニが好きなので、たまに、寺泊に行って買って来てくれます。だから、私はとてもうれいんです。私は、こんなお父さんが大好きです。

お母さんは、会社でいつもがんばって仕事をしています。私は、すごいなあと思います。それに、休みの日になると、お出かけに連れてってくれます。それに、休みの日にご飯を作ってくれたり、朝早く起きてご飯を作ってくれたりしてくれれます。私は、やさしいお母さんが大好きです。

二人のお姉ちゃんとは、たまにけんかをしてしまいます。でも次の日になれば、すぐに仲直りしてしまいます。一番上のお姉ちゃんには、おこられるとこわいけど、勉強を教えてくれたり、何か作ってくれたりします。私は、そんなお姉ちゃんが好きです。



だいじなおじいさん

島田小四年 中沢 明弘

ぼくのおじいさんは、昔、戦争に行ったことがあります。おじいさんの昔の話を聞いて、たいへんだったんだな。」と思いました。日本対中国の戦いで、おじいさんも

遊んでくれます。それに、勉強も教えてくれます。けんかをしてしまいうけど、やっぱり遊んでくれるお姉ちゃんが好きです。私は、お姉ちゃんがいればよかったと思います。いなかったら、遊んでくれたり、勉強を教えてくれたりしてくる人がいないからいやです。だから本当にいてよかったです。

私は、いつも家族のみんなをそんけいしてしまいます。おじいちゃんも、おばあちゃんも、お父さんも、お母さんも、お姉ちゃんたちもいつも、がんばっているなあ、すごいなあと思います。

これからは、みんなが喜んでくれるように、私も、手伝いをするなどして、がんばりたいと思います。そして、みんなをこまらせないように、気をつけたいと思います。私も大きくなったら、みんなのように、がんばって働きたいです。そしてみんなには、長生きをしてほしいと思います。

中国まで行ったそうです。おじいさんのいいところは、やさしいところです。時々おこる時もあるけどやさしいです。「めがねをとって。」と言われて、

といったそうです。修業しなくてはなりません。つい立てを作ったその中に入る絵も書いたりもします。

でき上った時ぼくは、ほんとうにすごくうまいなあと思います。おばあちゃんは、家の仕事をしています。そうじをしたり、母のご飯の手伝いをしたり、家のお客様にお茶を出したり、またおじいちゃんのお茶を運ぶ手伝いもしています。前は、あみ物もしていましたが、今は目が悪くてできないそうです。ぼくは、おばあちゃんがあみ物をできなくなった事がかわいそうだと思います。

父は、税務署の仕事をしています。税む署の仕事の聞いたら、国で使うお金を集める事だと教えてくれました。父が仕事を場所は、一年か二年で変わってしまいます。今は長岡ですが、その前は新がた、その前はぐん馬県、さい玉県でした。父一人で行って来ました。そして土日には時々帰ってきました。ぼくが四年生の時に長岡で働くことになり、家から通え

るようになりました。その時は、お父さんに毎日会えると思っつれしかったです。でも、また来年転きんになるかもしれせん。転きんばかりでかわいそうです。また、母には外での仕事だけではなく家の仕事もあります。ご飯を作ったり、洗たくや掃除をしたりします。とてもいそがしそうにしています。それを見ていてぼくは、何か手伝おうかと思ひます。ぼくの仕事は、新聞を取りに行くことと、ダスキンを交かんに行ってくることです。

これからぼくが手伝いたいこととは、まずげんかんそうじとアイロンかけと食器あらいとおふろの水入れです。あと新聞を取る仕事とダスキンの交かんの仕事もいまでもどおりしていきたいと思ひています。

みんなが一生けんめい働くすがたを見てぼくは、大変そうだなあつかれるだろうなあと思ひます。自分でもできることは、みんなのために仕事を手伝うことだと思ひます。



とってあげると、「ありがとね。」と言ってくれます。



みんなの仕事

桐島小五年 小黒 裕俊

ぼくの家には、働く人が四人もいます。母は、木村医院の事務の仕事をしています。事むの仕事とは、カルテを見て薬を作ったり、コンピュータで会計したり、電話の応対をしたり、かん者さんの話を聞いたりしています。まだまだぼくにはわからない仕事がたくさんあるそうです。一番たいへんなのは

薬の名前を覚えることだそうです。おじいちゃんは、建具屋の仕事をしています。建具の仕事は、ふすま戸とか硝子戸などの材木でできる戸を、いろいろ作っています。長い材木から戸の長さに切ったり、短い物は三センチぐらいに切つていろいろ組んでいきます。いろいろな工程ができるようになるには、先生について五年間(昔は、弟子



みんなですぐす休みの日

島田小五年 森 麻子

私のお父さん、お母さんは、二人とも働いています。学校の先生なので、休みの日でも休めない日もあります。

低学年のころ、「なんでお母さんたちは休みの日も学校に行くのだろう。」と、とても不思議に思っていました。休みの日は、休むための日なのに、なんでお母さんたちは休まないんだろうと思ひました。小学校と同じで、休みの日の学校はかきがかかっている、だれもこないものだと思ひていたからです。休みの日に学校に来る人は、当番の人くらいだろうし、来てても校舎に入らないはずだし、休みの日の学校では、もちろん授業なんてやらないから、先生も必要ないと考えていたからです。

中学年のころ、休みの日の学校に出かけるお母さんについていてみました。

「何をしているんだろう。」

「中学校ってどんなところかな。」

などと思ひながら車に乗っていると、学校に着きました。学校の前には何台か車がとめてあり、自転車小屋には自転車がたくさんとめてあります。お母さんについて校舎に入

り、ちょっと歩くと広い所に出ました。そこには卓球台がたくさんあって、中学生が大勢卓球をしていました。

帰りの車の中で、なんで休みの日なのにあんなにたくさん人がいたのか聞くと、「あれはね、部活をしているんだよ。」

と教えてくれました。私は、自分が中学校に行くようになったら、休みの日でも学校に行くことにならなうと思ひました。同時に、お母さんも大変だな、と思ひました。

今、休みの日でもあまり家にいられないお母さんたちとの時間を大切にしよう、私は心がけていくことがいくつもあります。

一つ目は、夕ごはんの手伝いで。夕ごはんのしたくをするお母さんを手伝えば、ごはんが早く食べられて、ごはんの後、みんなが楽しくすごせる時間ができるからです。

それから、家庭科をがんばっています。いろいろな料理が作れるようになれば、お母さんの帰りがおそい日でも私がごはんを作っておくこともできます。つかれて帰

ってきたお母さんも休めます。今はカレーくらいしかできないけれど、レパートリーを増やすために特に家庭科には力が入るのです。なかでも調理実習は大好きです。また、これからやろうと考えていることもあります。家庭科で習わなくても、自分で本を見ながら料理をしてあげたら、家族はき



父とがんばった美化運動

桐島小六年 大矢 正人

「おい起きろ！ 正人。」

ぼくはその一言で目が覚めた。

「なんで起こすの。今日は、日曜

日だよ。」

起こしたのは父だった。

「今日は美化運動の日だぞ。」

ぼくはあわてて着がえた。

着がえたら、かなり大きい袋を

持って黒坂方面へ向かって歩き始

めた。

美化運動というのは、道路の脇

に落ちていたゴミを拾ってきれい

にするという運動だ。

美化運動を始めたきっかけは、

村の無線放送で美化運動の呼びか

けをしていたからだ。

父もやるというので、ぼくもや

ってみようと思った。

この日の運動はぼくにとって、

四回目だ。

と喜んでくれるでしょう。りんごのゼリーや、デザートサンドイッチ等の簡単そうなところからチャレンジしてみようと思っています。平日は長い時間家族四人でいられないけれど、休みの日なら朝から晩までいっしょにすごせます。だから私はみんなですごせる休みの日が大好きです。

歩いていると、いろんなゴミが

たくさん落ちていた。

プラスチック、ジュースのかん

それからあきビンなどが道路の横

などに落ちていた。

ジュースのかんが意外に多いの

でおどろいた。

自分が飲んだかんをすてていく

なんて無責任な人もいるのだと思

うとはらがあった。

拾っては歩いて拾っては歩いて

をくりかえしていくうちに、まだ

半分も歩いていないのにゴミがた

まってきた。

「このビニール袋はゴミがいつば

いになってしまったよ。」

と、ぼくがつかれたように言う

と、

「本当だな。重いけどがんばれ。」

と励ましてくれた。

励まされて、あと半分がんばつてみようと思った。

ゴミがいつばいになるというこ

とは、ゴミが道路の脇にたくさん

落ちていたということだ。

タカハシ製作所の前あたりです

いぶん人がふえてきた。

それはたぶん上桐に住んでいる

人たちと黒坂に住んでいる人たち

が少しずつこの美化運動に参加し

てきたからだと思う。

タカハシ製作所のあたりから、

坂が少しずつ、少しずつ急になっ

てきたから、歩くのも少しずつ大

変になってきた。

急な坂をのぼっていると、左の

方に大きな湖が少しずつ見えてき

た。

その湖には何十羽もの鳥が楽し

そうに泳いでいた。

その湖で少し休んだらまた少し

ずつ歩き始めた。

道路の横だから車がよく通って

ちよつとあぶないと思うときも何

回があった。

ちよつとがけのようになってい

る所にもゴミは落ちていた。

そこは木や草がたくさんはえて

いて、ゴミが拾いにくかった。

歩くのが少しらしくなったあた

りで歩いてきた方を向いてみたら

ながめがすぐきれいで、ちよつ

とだけだったけれど立ちどまって

見ていた。

美化運動が終わってみると、軽

トラックに袋がたくさん積まれて

いた。

帰る途中で、ぼくは父にさそわ

れて始めた美化運動だったけれど、

やってみてもよかったと思っ

た。



空きカン拾い

鳥田小六年 八子 達也

ある日、父が、

「明日は、朝早く空きカン拾いが

ある。お前もつれていくから、

早く起きるんだぞ。」

とぼくに言いました。これを聞い

たぼくは、

「めんどうだなあ。でも、どうせ

家に居ても何もしないんだから

ついて行ってみるか。」

と思い、行くことにしました。

次の日、ぼくは六時に起きまし

た。すると、父はとつと起きて

いて、とてもやる気があるらしく、

もう行く準備をしていました。ぼ

くが起きたのに気づいた父は、

「やっ」と起きてきたな。早く着替

えて準備しろ。」

と言ってきました。ぼくが準備を

終えると、

「よし、準備できたな。じゃあ行

くぞ。」

とはりきった声で言いました。

家を出ると、父が拾うコースを

教えてくれました。それによると、

ぼくの家から手板に行く坂までで

約一キロメートルくらい歩いて行

かなくてはなりませんでした。い

よいよ出発です。どんどん歩いて

いくと、お地藏様がありました。

その後ろに、なんと、たくさんの

空きカンが落ちていました。父は、

「なんてばち当たりな事をするん

だ。」

などと言いながら、袋の中に拾っ

ていきました。ぼくもまねをして

拾いました。そして、また歩き始

めました。ぼくは少し疲れてきま

した。でも、父ががんばっている

ので、ぼくもがんばり続けました。

また、しばらく歩いていくと、

ごみ捨て場ではないのに、多量の

空きカンが捨ててありました。こ

れを見た父が、

「ひどいことをするやつがいるな

あ。きつと、人が見ていないか

ら捨ててもいいと思つたにちが

いない。」

と言つたので、ぼくは、

「まっただね。」

と答えました。そこにあった空き

カンを全部拾い、また歩きました。

ぼくは、その頃、もう歩けないと

いうほど疲れて、足がガクガクな

っていました。すると、父が後ろ

から、

「だらしないなあ。」

と言いながら、ぼくの背中を押し

てくれました。ぼくは、

「なぜ、お父さんは疲れないの。」

と聞きました。すると、父はこう

答えました。

「お父さんは、昔から手伝いをし

たり、外に出てよく遊んだから

こんなことぐらいで疲れないん

だよ。」

家を出て一時間。ようやく手板

の所まで着きました。ぼくは、や

つと終わつたという気持ちの他に、

何か満足感がありました。つらか

つた空きカン拾いを終え、家に帰

る道で、

「ぼくは、今度からお父さんみた

いに体をきたえよう。そして、

お父さんがいなくても空きカン

拾いができるようになろう。」

と思ひました。空きカン拾いは、

ぼくにいい影響を与えてくれまし

た。さそつてくれた父に感謝して

います。



家族とのきずな

北辰中一年 山田 由美

家族の中で一番大切なのは祖父祖母だと思います。でも私は、大切な祖父祖母のことを口だけでは大切だといっているけれど、私の心の中では、じゃま者あつかいしてました。祖父母が何か言っていると、「うるさいな。」と言って祖父母の言うことを聞きませんでした。姉妹の中でも私が祖父母への態度が一番悪いといわれました。母に注意されても、直そうとはせず、逆にもつとじゃま者あつかいしてました。

そんなことが続いたある日、部活が終わって私が家へ帰ってみると、家の中はしーんと静まりかえってました。家の中へ入り母に聞いてみると、祖父が仕事場で気分が悪くなり入院したということです。父も祖母も一緒に病院へ行つて私と姉と母の三人だけで家にいました。三人だけの夕食はおいしくありませんでした。やっぱり七人で食べた方がおいしいと思ひ、やつと祖父母の大切さがわかりました。

翌日、父に聞いてみると胃かいようだとわかり安心しました。けれど、入院して二日目、家に病院から電話がきて祖父の容体が悪くなつたということです。父や祖

母は寝ていて、私も寝るところでした。病院へきて下さいと言われたので、急いで父と祖母をおこしにいきました。私達は、何がどうなつたのかわからず、おどおどしながら部屋のそうじをしていました。さっきまで眠かつたのが眠れなくなつてしまいました。数時間過ぎて父から電話がきて祖父のことを聞きました。祖父は、胃の中にたまつていた血液が出ただけだったそうです。私はそのことを聞いて思わず涙が出てしまいました。そして、今まで祖父へ反発してきた自分を、情けなく感じました。そして、日曜日、祖父の入院している病院へお見舞に行きました。祖父は、小部屋で一人寂しく寝ていました。祖父は、点滴をしていて、まだなにも食べられなくて、歩くことさえできませんでした。私は、そんな祖父の顔を見ていられませんでした。でも、父と母は祖父が安心できるようにといろいろしてきました。姉も一緒にやっついていて、私だけはないもできませんでした。私はそんな時、「なんで私だけにもできないんだらう。」と思ひながら、母達の方をじつと見ていました。

祖父の病室を出る時、やっと私は祖父にしゃべることができました。

「おじいちゃん、早くよくなって帰ってきてね。みんな待ってるから早くよくなってね。」

と言えました。そして祖父は、「ありがとう由美、みんなに心配かけたな。おじいちゃんも早くよくなってみんなとごはんを食べたいな。」

と、言ってくれました。私は、うれしくてその時だけは、祖父の方を見てることができました。

そしてまた第四土曜日に祖父のところへお見舞にいきました。祖父は、ほんの数日前、小部屋から大部屋へ移っていました。大部屋は、小部屋とちがってにぎやかでした。

祖父の容体は、順調に良い方へ向かっているようでした。点滴もとれ、自分で理容院へ行けるくらい良くなっていました。その時はまだ普通のごはんは食べられませんでした。おかゆよりもどろっとしたものを食べていたそうです。この時はもう祖父の方を、少しづつながらも見ていられました。たった数十分しかいなかったけれど、前よりもっと明るく元気な祖父の姿を見られてよかったです。

そして、ついに祖父が退院して

きました。私や姉はうれしくて、ウキウキ分度で祖父の帰りを待っていました。祖父は、前のように「きたよー」と元気な声で帰ってきました。私たちは、「おじいちゃんお帰りなさいー」と声を合わせて言いました。

祖父はこの入院をきっかけに今まで勤めていた会社を退職することになりました。私は、祖父にもう一つやめてほしいものがあります。それは、たばこです。祖父は、胃の病気を二回もしました。

祖父は、お酒は飲まないのですが、その分たばこを吸っています。また体の病気をすると祖父も苦しい思いをして、家族も安心していません。祖父の好きな物は少なくなってしまいましたが、祖父のためになると思って祖父に話してみたいです。そして祖父は、「たばこもひかえるよ。」と言いました。

私は、今回の祖父の入院で、家族の大切さを知ることができました。家族の一人でもかけると、家の中はだいぶかわること、家族のきずなの大切さを知ることができました。

これからは、祖父母はもちろん、家族全員を大切にしていきたいと思えます。そして、いつまでも家族七人仲良く、家の中がもっと明るくなるようにしたいです。



純真な心

北辰中二年 櫛谷 麻里

「子供と大人、どっちがいい？」
そう聞かれたら、前までの私は必ず、

「もちろん、大人がいい。」
と答えていたと思う。でも、今の私ならきっと、

「子供の方がいいかもしれない。」
と答えるはず。
前は大人になれば何でも自由になれて、何でも好きなことができて、誰にも文句を言われない、などと、勝手に夢のようなことを考えて、単純に思っていた。確かに自由になれるかもしれない。けれど、やっぱり子供の方がいい、よく考えてみると。

大人はまるで、ロボットや機械みたいだ。毎日毎日会社に出勤して仕事をして、時には、毎日のように上司にどなられ、また仕事をし、終われば家に帰ってゆっくり休む。くる日もくる日も同じことを繰り返す。ただのロボットだ。これでは、いくら自分が好きでついた仕事でも、私なら嫌になる。

大人は、「ぼく」が子供の頃に書いた、ウワバミがゾウをこなししている絵を、みんな「帽子だ。」と言った。
私の弟がまだ幼い頃、弟はまだ



家族

北辰中三年 松本 真由美

「では次のニュースです。高校生が自分の親をバットで殴るといっていたらしい事件がありました。」
近ごろのニュースでは、こんなアナウンサーの声を聞くようになってきました。

「カッとなって殴ってしまった。」
もよく聞きますが、どうしてでしょう。怒ったぐらいでバットを持ち出し、殴るのでしょうか。それも何回も何回も……

私たち三年生は、社会科で公民を勉強しています。そして家族についても勉強しました。社会には、たくさんさんの集団があります。その集団の中で、最も基礎的で一番近くにあるのが「家族」です。それだけでなく、家族には「助け合う」「心の安らぎ」「子どもを育てる」などのほたらきがあります。そして、今私たちが学校の中で集団生活を送ることができるようにも、家族のはたらきの中に含まれているからだと思います。

人は社会的な生き物で、人の中で生活して人間らしさを得ることができるようです。良い例が狼に育てられた少女の話です。

少女は幼い頃からずっと狼に育てられたがために、人の言葉を話

言葉がよくしゃべれなくて、いくら弟が一生懸命しゃべっても、父にも母にも言葉が通じなかった時期があった。父も母も、一生懸命理解しようとするのだが、どうしてもわからない。唯一、弟の言葉を理解できたのは、同じ子供の私だった。私は、いつも弟の言いたいことを通訳するようにして親に伝えた。私が通訳すると、弟はまるで、

「それでいい。」
とでも言いたそうな顔でうなずき、親は、

「ああ、そういうことか。」
とうなずいたものだった。
同じ子供なら、「ぼく」が書いた、ウワバミがゾウをこなししている絵も、わかってくれる子供がいるはずだ。その絵をわかってくれたのが、「王子さま」だった。

「王子さま」は、「ぼく」がその絵を書くと、
「ぼくは、ウワバミがゾウをこなししている絵なんか知らないよ。」
と言ったのだ。王子さまだからわかったのかもしれないが、子供だからこそ、わかったんじゃないかと思う。

大人はつまらない。どこかで、すかわりにほえたり、二本の足で立つかわりに、四つんばいになっただけで歩きまわったりする……。人間としてではなく、自分が狼だと思いたい。共に生活をしていきたのだと思います。

狼や動物たちは、泣いたり笑ったりすることができません。しかし人間はそれが可能です。なぜでしょう。それは自分の家族が、自分が赤ちゃんのときに笑いかけてくれたのをずっと見ていたからです。涙もそうです。自分の周りの人が泣いたり笑ったりすることがなければ、自分もそうすることを知らずに生きていくのです。

この少女も狼に育てられたために、笑ったり泣いたりすることができなかつたのだと思います。

私の家族は四人家族です。両親は働いていて父の方はいつも残業でくたくたになって帰ってきます。父の帰宅がとても遅いため、日曜日以外ほとんど家族そろって夕飯を食べることができません。いつも三人です。普段は別に考えもしないし、感じもしないことなのですが、この作文を書くにあたって、「三人よりも四人がいい。家族そろっての方がいい。」と思いました。

大切な物を置き忘れてきてしまっている。自分が子供だった頃、きつと「ぼく」のようなことがあつたはずなのに。自分も前は私たちと同じ子供だったのに……
昔、私が車に乗っていたときのことだった。その時はちょうど雨が降っていて、車のワイパーが動いたあとに、フロントガラスに残っていく跡が、私にはクジラのような形に見えて、
「あ、クジラ。」
と、後ろの座席から身をのり出しながら、フロントガラスを指さして言う。
「え？クジラ？」
と言って、親は全くわかってくれなかつた。
「ガラス、ガラス。」
と一生懸命言っているのに、親はほかの車を見て、私が「クジラ。」と言っていると思っているらしく、とうとう「クジラ」のことはわからなかつた。その時、どうしてわかつてくれないのか、不思議で不思議でたまらなかつた。
大人はきつと、子供の心を忘れてしまっている。もうちょっと、子供の頃のことを思い出して、子供のことをわかつてあげてほしいんじゃないかと思う。
王子さまは、最後に星になつて

しまったけど、純真な心を持った子供のまま、星になれたのだからうらやましい。
私もどうせなら王子さまのような素直で純真な心を持った子供になりたい。
大人たちも、この「星の王子さま」を読めば、子供の心に戻つたような感じになれるかも、しれない。
では、私は大人と子供、どっちだろうか？……半人前なのだろうか、やっぱり。
親の言うことがわかるようになってきたのは、大人に近づいているから？
私が考えるには、家族だからこそ、私の言うことを理解してくれんじゃないかと思う。
特に親は、十三年間もずっと、私を見ていてくれて、一番私をわかつてくれる。
やっぱり家族は、誰よりも自分を理解してくれる人たちだと思う。友だちにも理解してくれる人はたくさんいるけれど、やっぱり家族には勝てないと思う。
今、私はこう考える。
『家族は宝物。
家族はいつまでも自分の家族。
家族は一生大切にしていこう』

障害ということについて シリーズ②

「家族の思い」 家族会事務局

シリーズ1では、精神の病は誰でもなる可能性があるということをお伝えしました。和島村にも精神に病を持つ方とその家族が暮らしています。いったいどんな思いで暮らしているのでしょうか？シリーズ2では「家族の方々の思い」をお伝えします。

「どうしてこんな病気になるってしまったのか」「自分の育て方が悪かったのか」過去を何度も振り返ってみては自分を責めたり原因探しをしてみよう。十数年経った今でも、消えることのない思いを胸に、父母、家族は毎日を暮らしています。誰が悪いわけではなく本人が一番苦しむのだと、自分たちと与えられた運命を必死に生きています。

「今はおちついていて、畑や家の手伝いをしてくれます。この状態がずっとずっと続いてほしい」そう話をする少し年老いた母の顔は穏やかです。いくつもの山坂を越えてようやく手に入れた普通の生活。その生活を続けられることが母の願いです。

「我が子が病気になることを隠したいと思った。でも隠していたら病気が闘っていけない。とてもつらいけれど、親として、我が子の病気を認め、いっしょに闘っていききたい」こんな言葉は、おちついた今だからこそのことなのだと思います。ここに至るまでには、いろ



家族のきずなを深めることができ、大切な時間だと思えます。なにも旅行に出かけることだけがきずなを深める時間ではないのです。しかし最近の家族は私の家と同じように、家族団らんで食事をしない家族が増えてきています。その理由として、親の共働きであったり、子どもの塾通いなどがあります。私は決して悪いことだと思いません。共働きするな、塾へ行くなとは言いません。言いませんが、団らんの食事をしてほしいと思うのです。

私の理想としている家族の姿は、昔の家族です。何人も兄弟がいて、お父さんが来るまでご飯は食べてはいけないとか、そんな風に家族の大黒柱がしっかりしていることが大好きです。

最近はお父さんの存在が危なくなっている家庭もあるのではないのでしょうか。私はとても悲しいです。だんだん家族の形がくずれてきているのではないかと思えます。家族はお互いにはげましあったり、ゆったりとくつろげる関係同士だと思っております。それなのに学校や会社で緊張を解くことができないうちで家族ではないと思えます。私たちが大人になって結婚をして家族になったときに、家族のありかたを考える必要があると思えます。夫婦がお互いにいたわり合うことが一番だと思います。そうすればその子供たちも、自分の親の様に家族に接することができて、家族団らんが守られることは必至だと思います。

んな苦労がありました。

今、家族は新たな悩みをかかえています。

「自分たちがいなくなったとき、我が子はどうなるのだろうか？」
具合が悪いと薬を飲みすぎたり、調子がよいと飲まないでしまうことがあります。体調に波があり、朝起きられなかったり、食事がとれなかつたりします。家族が少し声をかけてやれば普通に生活しているのに、一人ではできない部分があります。

また、人の目が気になり人づきあいがうまくできなくなるため、家にこもりがちです。

私たちがまた彼らに「最近調子はどうか？」「がんばれよ」と自然に声をかけることができているでしょうか？

家族がいなくなったとき、誰が生活の手助けをしていくのか。親の不安はつりまわります。

「考えないようにしているが、その日は必ずくる」いずれおとずれる将来について、今はただ案ずるだけです。

家族の方にこんな質問をしてみました。

「あなたを支えてくれているのは誰ですか？」

「自分自身です。誰も支えてくれない人はいません」……意外な答

えでした。もちろん、自分の夫、妻、友人は自分を支えてくれているはずですが。それなのにいったいどういふことなのでしょう。

夫婦は、毎日の生活に追われる中で、じっくり向かいあい、話をする余裕がないのです。そのため気がすれ違ふことも多いのでしょうか。

「もっと父ちゃんにゆっくり話を聞いてほしい」家人にがんばろうやと声をかけてほしい、「息子ばかりじゃなく、夫である自分にやさしくしてほしい」そんな思いなのではないでしょうか。

自分の大切な夫・妻であるからこそ、夫婦としてしっかり結びつき、わかりあっていると思いたいのだと思えます。

さて、精神に病を持つ方、そして家族にとって和島村は住みこころのよい村なのでしょう。同じ村の仲間として「母ちゃん大変だね」や「がんばれ」「がんばりすぎんよ」とそばによって肩をたたいてやれていますか？何でもない会話で家族の心をホッと和ませるのです。

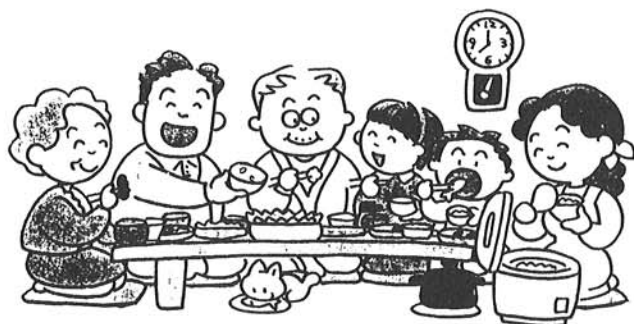
精神の病は決して特別ではありません。しかし、みなさんの心の中で精神の病を持つ方、家族はどう映っているのでしょうか。「この機会にぜひ考えてもらいたい」それが家族会の願いです。

(和島村家族会―平成元年結成)

こどもの眼、こどもの心 見えますか



毎月第三日曜日は「家庭の日」



和島村家族会 長岡保健所
住民課



わし麻呂くんの部屋

～生涯学習情報～



明るい家庭・
明るい村びん
「あいさつ」運動

和島村青少年育成村民会議・教育委員会では、「明るい家庭づくり・明るい村づくりあいさつ運動」を今年度より全村あげて展開いたします。
家庭・学校・職場はもとより、近所、朝夕など道であった人など、いつでも気軽に明るく「あいさつ」しましょう！
また、あいさつ運動を展開するにふさわしい標語を募集しています。村民のみなさんふるってご応募ください。
くわしくは、すでに配布しました募集要項をご覧ください。

おはよう
ございます！



みんなで明るく「あいさつ」しよう！！

第19回 村民バドミントン大会

12月8日(日)、体育協会主催の第19回村民バドミントン大会が小学生から一般までの25名の参加により、勤労福祉センターで開催されました。
一般男子の部と女子の部はリーグ戦で、中学生男子の部と小学生の部はトーナメント戦で行い、それぞれ熱戦がくりひろげられました。
結果は次のとおりでした。

- ◎一般男子の部
 - 優勝 早川 泰
 - 準優勝 小田 義和
 - 第三位 寺村 清
- ◎一般女子の部
 - 優勝 加勢 幸江
 - 準優勝 加勢 弘子
 - 第三位 寺村 淳子
- ◎中学生男子の部
 - 優勝 早川 史人
 - 準優勝 加勢 誠
- ◎小学生の部
 - 優勝 坂田 恭兵
 - 準優勝 宇木 健人
 - 第三位 加勢 博康

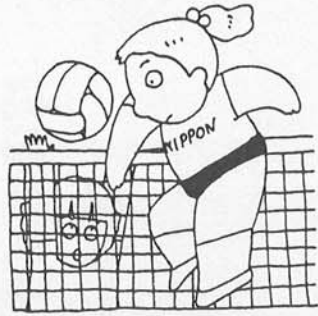


第4回 村民ソフトバレーボール 大会

11月24日(日)、公民館主催の第4回村民ソフトバレーボール大会が、勤労福祉センターで開催されました。

大会は、6人制バレーボールコートを使い、5チームの参加により、リーグ戦で行いました。
珍プレーもあり、終始なごやかな雰囲気の中で大会でした。
結果は次のとおりでした。

- 優勝 東保内チーム
- 準優勝 駅前チーム
- 第三位 下町下チーム



楽しかった スケート教室

少年教室では、11月23日(祝)、県立柏崎アクアパークを会場にスケート教室を行いました。
最初、講師の人に1時間ほど指導をしていただきました。初めは転んでばかりいた子供たちも、時間がたつにつれ滑れるようになり(？)友達といっしょに「ワイワイ」言いながら滑っていました。
帰りの電車の中でも、笑い声が絶えないほど、とても楽しい一日になりました。



村民スキーツアーin安塚 参加者募集！！

公民館主催の村民スキーツアーin安塚を計画いたしました。ゆきだるま温泉もあります。
みなさんの参加をお待ちしております。

- ◇期日：1月26日(日)
- ◇会場：キュービッドバレースキー場
- ◇募集定員：80人(定員になり次第締め切ります)
- ◇参加料
 - ・大人：2500円
 - ・高校生：2000円
 - ・小・中学生：1500円
 - ・幼児：1000円
- ◇申込み
 - 1月14日(火)までに公民館(教育委員会)へお申し込み下さい。
 - ※詳しくは、公民館へお問い合わせください。



1月の納税・納入

- ◇村県民税……………第4期分
- ◇国民健康保険料……………1月分
- ◇国民年金保険料……………1月分
- ◇幼稚園保育料……………1月分
- ◇保育所保育料……………1月分

おしらせ

information

1月の救急診療のご案内

1. 休日の救急診療

日	時 間	内科・外科・小児科	産 婦 人 科
1日(祝)	昼(午前10時～午後3時)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	—
	夜(午後6時～)	長岡中央総合病院	立川総合病院
2日(休)	昼(午前10時～午後3時)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	—
	夜(午後6時～)	立川総合病院	長岡赤十字病院
3日(金)	昼(午前10時～午後3時)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	—
	夜(午後6時～)	長岡赤十字病院	長岡中央総合病院
5日(日)	昼(午前9時～午後6時)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	—
	夜(午後6時～)	長岡中央総合病院	立川総合病院
12日(日)	昼(午前9時～午後6時)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	—
	夜(午後6時～)	立川総合病院	長岡赤十字病院
15日(祝)	昼(午前9時～午後6時)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	—
	夜(午後6時～)	長岡赤十字病院	長岡中央総合病院
19日(日)	昼(午前9時～午後6時)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	—
	夜(午後6時～)	長岡中央総合病院	立川総合病院
26日(日)	昼(午前9時～午後6時)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	—
	夜(午後6時～)	立川総合病院	長岡赤十字病院

2. 平日夜間の救急診療(午後6時～)

曜 日	月曜日及び木曜日	火曜日及び金曜日	水曜日及び土曜日
診療科目	外 科	外 科	外 科
病 院 名	長岡中央総合病院	立川総合病院	長岡赤十字病院

3. 歯科の救急診療

長岡休日急患診療所(健康センター内)	1月1日～3日 午前10時～午後3時
その他の休日	午前9時～午後4時

※お問い合わせは

- ◎長岡市健康センター内(長岡市西千手2丁目5番1号)
 - ・長岡休日急患診療所……………☎35-8255
 - ・長岡休日急患歯科診療所……………☎33-9644
 - ・長岡市市民部健康課……………☎32-5000
- ◎長岡市医師会……………☎32-1900
- ◎長岡市歯科医師会……………☎32-1430

鳥崎駐在所が

移転しました

道城下地内にあった鳥崎駐在所が、このたび寺町地内に移転し、12月11日(水)には新築披露が行われました。
新しい駐在所の所在地は鳥崎3281番地で、国道116号線から鳥崎橋を渡り、寺泊方面に向かつてすぐのところすです。
村民を昼夜にわたり守りつづける駐在所。新しい移転先でも、よろしく願います。



平成8年度

「税に関する標語」入選作品

長岡税務署では昨年11月、税についてもっと関心を持ち、税の重要性を知ってもらおうと、中学生を対象に「税に関する作文・標語」を募集しました。
その結果、北辰中学校から次のみなさんが入賞されました。

- ◇長岡税務署長賞(佳作)
人々が 歩いていく道 税もゆく
一年 八子 桂子 さん
輝いてる いつでもどこでも あなたの税
二年 池浦 綾香 さん

◇長岡税務署管内税務団体連絡協議会長賞

- かぎりなく 町にあふれる みんなの税
(佳作)
二年 片桐 雄大 さん



おめでとうございます

◆認定農業者会設立◆

10月23日、認定農業者の相互の連携や情報交換活動の場として、「和島村認定農業者会」が設立されました。
会では、会員の相互理解と協調を目的に①和島村農業の先進的な活動を行うこと、②農業技術の研究を行うこと、③農業経営に関する研究および複式簿記等技術の習得を行うこと等として



ています。
会のメンバー(13人うち法人2)はいずれも和島村を代表する農業者で、関係機関ではこの会が会員相互の研鑽の場となり、経営改善計画の達成が図られるとともに、会が発展し和島村農業の牽引役として村農業の活性化に資するものと期待しています。
また11月8日付で次の方が、認定農業者に認定されました。
・農事組合法人 島田生産組合 中 沢

―認定農業者制度―

この制度は、経営規模の拡大や集約化、複合化などによって農業経営の改善を図り、市町村が目標として掲げているような望ましい経営を目指していく意欲的な農業者が作成した農業経営改善計画を市町村が認定し、認定を受けた農業者を支援していくこととするものです。
詳しいことは、農業経営改善支援センター(役場産業課内)にお問い合わせください。

国民年金 ちょっといい話

住民課 ☎74-3111 内線255

国民年金は二十歳が

スタートです

人生八十年時代。

いま、私たちは世界で一番の長寿国に住んでいます。長生きできることはすばらしいことですが、それだけ自分の一生をながい目でみた人生設計が大切になります。

「年金なんて遠い将来のことだと、若いみなさんは思うでしょう。でも、誰にでも老年を迎える日がきます。また、「万一のとき」の備えも必要です。

老齢基礎年金だけでなく、障害基礎年金や遺族基礎年金は生活保障として、欠かすことのできないものです。
国民年金には、二十歳から六



十歳までのすべての人が加入します。
厚生年金や共済組合に加入している人以外は、学生であっても国民年金に加入しなければなりません。
二十歳になったら、住民票のある市町村役場で加入の手続きが必要ですよ。
国民年金に加入して大人の仲間入りをしましょう!

シンボルマーク募集!!

社会福祉法人長岡三古老人福祉会、医療法人華山会では、親しみを持っていただき、多くの方々から施設やサービスを活用いただくために次によりシンボルマークを募集しています。

◆応募条件：B5サイズの画用紙に、当法人や老人福祉をイメージしたシンボルマークをデザインしてください。表現方法は自由です。お一人様何点でもご応募いただけます。画用紙の裏に氏名、年齢、住所、連絡先を忘

れずに書いてください。

◆選考および発表：法人内で審査し、入賞者には平成9年5月15日までに通知します。デザインを採用させていただく方および入賞者には、総額10万円の賞金と記念品および賞状を贈呈。

◆締切り：平成9年3月31日（必着）

◆応募・お問合わせは：〒940-0123 三島郡三島町宮沢580-3 特別養護老人ホームみしま園 長岡三古老人福祉会事務局（☎42-3131）

週40時間制 全面的実施まで あつこ力です

現在週40時間制が猶予されている事業場についても、平成9年4月1日より全面的に週40時間制が適用になります。

このため、労働省では全面的な週40時間制への円滑な移行の実現に向けて、中小企業の自主的な労働時間短縮の取組みに対する指導援助のため次のような事業を行っています。

◆中小企業労働時間短縮促進特別奨励金



・中小企業が早期に、かつ、円滑に週40時間制に移行することを奨励するため、省力化投資等を行って所定労働時間を短縮した中小企業事業主に対し、事業場の規模等に応じて一定額を支給する制度です。

なお、詳しくは長岡労働基準監督署（長岡市東新町1-6-8 ☎0258-3318711）へお問い合わせください。

福祉の通信講座

ご案内

高齢社会を迎えて福祉の資格取得を希望する人が多くなっていますが、通信教育三十余年の指導経験があるNHK学園では、この4月からいくつかの福祉の講座を始めます。

◆社会福祉コース：国家資格・介護福祉士の受験資格が2年間で取得できます。（2月1日から願書受付）

◆ホームヘルパー2級課程：厚生省認定（1月1日から受付開始）

◆手話講座：放送とともに学びます。（2月1日から受付）

◆詳しい案内書をご希望の方は：〒186 国立市富士見台 NHK学園 8E01係 ☎0425172-3151

働きながら 高等学校教育を

働きながら高等学校教育を受けることができる定時制・通信課程の生徒を次により募集します。

◆募集している学校

- ・定時制課程：県内の公立高等学校13校

- ・通信制課程：新潟高等学校、高田南城高等学校
- ◆応募資格
 - ・平成9年3月に中学校もしくはこれに準ずる学校を卒業する見込みの者
 - ・中学校もしくはこれに準ずる学校を卒業した者
 - ・中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
- *年齢性別は問いません。

◆お問い合わせは：

- ・出願手続き：出身中学校
- ・学習内容等：出願する高等学校
- ・その他：県教育庁高等学校教育課（☎025-28515511）

サラリーマンと確定申告

大部分のサラリーマンは、年末調整によってその年の所得税の納税を完了しますが、次のような場合などには、確定申告をしなければなりません。

- ①平成8年分の給与収入の合計が2000万円を超える場合
- ②給与所得や退職所得以外の所得金額の合計額が20万円を超える場合
- ③給与の支払いを2カ所以上から受けている場合で、年末調整をされなかった給与の収入金額と給与所得や退職所得以外の所得

金額の合計額が20万円を超える場合

なお、確定申告をする必要のないサラリーマンでも、マイホームをローンなどで取得したり、多額の医療費を支払った場合などには確定申告すると源泉徴収された所得税が還付される場合があります。

申告書を書くときは「所得税の確定申告の手引き」や「申告書の書き方」を参考にしてください。「申告書の書き方」に示されている番号順に記入していきますと、



所得や税額の計算が簡単にできるようになっていますので、ご自分で記入して郵送などによりお早めに提出して下さい。

なお、おわかりにならない点等がありましたら、長岡税務署・税務相談室（☎33-5252）へおたずねください。

110番は110番の日

110番すると、警察本部の通信指令室につながります。

- ◆こんな時は110番！
- ・事件や事故を見たとき。
 - ・ドロボウ等の被害にあったとき。
 - ・倒れている人を見たとき。
 - ・不審な人、車を見たとき。
 - ・その他、急いで警察に知らせたいことがあるとき。

110番すると、県庁（通信指令室）につながり係員が「何があったのですか。その場所はどこですか。何か目標となる建物等がありますか。（住宅明細図を使用し

ています）」など必要事項をたずねますので、落ち着いて対応してください。

- ◆110番5つのポイント
- ①何があったか？（交通事故、ドロボウ、ケンカなど）
 - ②いつ、どこで、目標は？（いまから何分前、何町、何ビル前）
 - ③事件・事故の内容は？（普通乗用車と大型トラックの衝突で、ケガ人が2人います。救急車も必要です）
 - ④犯人は？（人数・人相・服装・車のナンバー・逃げた方向など）
 - ⑤あなたの住所・氏名・電話番号

・今いる場所は？（事件・事故との関係）

事件・事故が発生したとき、犯人の早期検挙や被害者の救助など迅速でかつ適確な処理が必要となります。そのためにも、110番通報を積極的に利用してください。

なお、次のような用件の場合は次のところへ連絡してください。

- ◆事件・事故以外の相談ごとで、特に急がなくてもいい場合は：警察総合相談室をご利用ください。（☎025-28319110または#9110）
- ◆地理案内、忘れ物、拾い物等の用件は：
 - ・与板警察署・交番または駐在所へ直接連絡してください。



手軽に移動ができて便利なストープですが、火災原因の上位にもなっています。

使用する前には、周囲の整理整頓と、後ろのカーテンやふすまに近す

ストープの置き場所は、後つや上の安全確認も。

ぎないか、上の棚から物が落ちてくる危険がないかなどの、安全確認をしっかりしてから点火する習慣をつけましょう。

平成9年度 放送大学学生募集

放送授業を収録したビデオテープ・オーディオテープを利用し、約300の授業科目から自由に選び興味に応じた学習ができます。入学試験はなく、18歳以上の方ならどなたでも入学でき、土曜・日曜日にも利用できます。

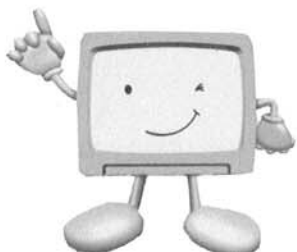
- ◆募集学生の種類
 - ・選科履修生（1年間在学）
 - ・科目履修生（6カ月間在学）
- ◆願書受付期間：平成9年2月15日（土）まで
- ◆学費
 - 入学料

◆申し込み方法などくわしくは：

- 授業料：1単位あたり4000円
- 選科履修生：6000円
- 科目履修生：4000円

放送大学新潟地域学習センター
〒951 新潟市旭町通2番町
746番地 ☎025-222812651

学びたい！
それが入学資格です。



歯の用心 一口メモ



歯の健康 Q&Aコーナー

Q 50代の女性ですが、最近、何を食べても塩辛い味がするようになりました。このような味覚の異常は、舌の問題でしょうか、それとも全身的なものでしょうか。

A 味覚異常を訴える女性は年々増えており、50代以後の女性に多いようです。症状の多くは味覚減退が半数を占め、他に、別の味に感じるなどの異常味覚があります。

血液検査等で原因を調べると、原因不明を除いて最も多かったのが、亜鉛欠乏です。以下、鼻の病気による風味障害、薬の副作用と続きます。

亜鉛を服用すると、2週間から2カ月で味覚障害が改善されることも分かっています。予防には、亜鉛を多く含む食物をとることが必要になり、亜鉛は、カキを代表に、魚介類、海藻、豆、種実類、日本茶、肉では牛レバーなどに多く含まれています。

新潟県歯科医師会